Pioneer sound.vision.soul

スピーカーラックシステム

B-07

インターネットによるお客様登録のお願い

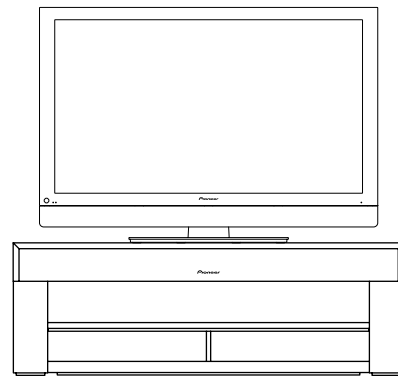
http://www.pioneer.co.jp/support/

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
弊社では、お買い上げいただいたお客様に「お客様登録」をお願いしています。
上記アドレスからご登録いただくと、ご使用の製品についての重要なお知らせなどをお届けいたします。なお上記アドレスは、困ったときのよくある質問や各種お問い合わせ先の案内、カタログや取扱説明書の閲覧など、お客様のお役に立てるサービスの提供を目的としたページです。

取扱説明書

このたびはパイオニア製品をお買い求めいただき、ありがとうございました。

● 正しく安全にお使いいただくため、お使いになる前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
● 本製品の機能を十分に発揮させてお使いいただくために、この取扱説明書を最後までお読みください。
● お読みになったあとは、大切に保管してください。

本製品はパイオニアのプラズマテレビやプラズマディスプレイ、薄型テレビを設置すると同時に、内蔵のスピーカーと専用のオプションで簡単にホームシアターを楽しめるようにしたスピーカーラックシステムです。

※テレビは別売品です

安全上のご注意(絵表示について)

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

 △記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。

 ⃠記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。

 ●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。

ご使用の前に

● このスピーカーシステムの公称インピーダンスは、8 Ω（オーム）です。負荷インピーダンスが 4 Ω～16 Ωのアンプ（スピーカー出力端子に 4 Ω～16 Ωの表示があるもの）へ接続してお使いください。

- 振動板は、外力により強い衝撃を与えますと破損することがあります。振動板には手を触れないでください。

△スピーカーを過大入力による破損から守るため下記の注意事項をお守りください。

- 許容入力以上の入力をしない。
- 本機を含むAV機器をアンプへ接続するときはアンプの電源をOFFにする。
- グラフィックイコライザーで高音を大幅に増強する場合、音量を上げ過ぎない。
- 小出力アンプで無理に大きな音を出さない（アンプの高調波歪が増え、スピーカーを破損することがある）。

△ 注意

設置

- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

- テレビ、オーディオ機器などに本機を接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。

- 本機の上にテレビやオーディオ機器を載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

- 直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に置かないでください。火災の原因となることがあります。

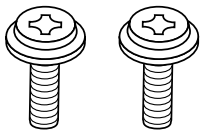
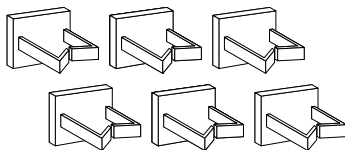
使用方法

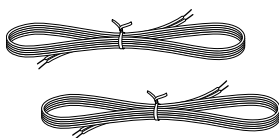
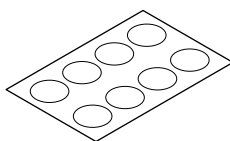
- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。
スピーカーが 発熱し、火災の原因となることがあります。

- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。

付属品の確認

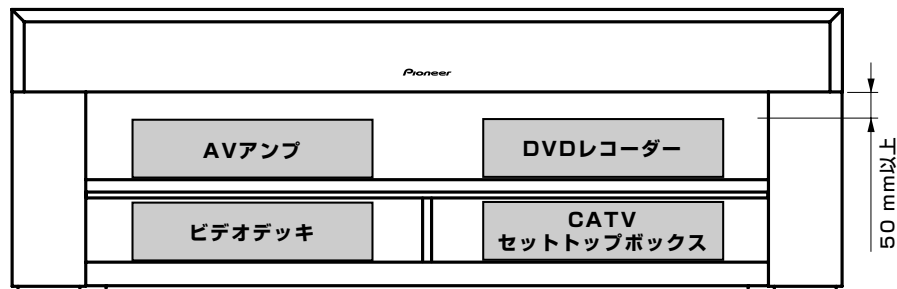
付属品を確認してください。

- 転倒防止用固定ネジ× 2（M5 × 35 mm）

- ケーブルバインダー× 6

- ご相談窓口のご案内・修理窓口のご案内（裏表紙）
- 保証書（別添）
- 取扱説明書（本書）

- スピーカーコード× 2

- 穴ふさぎシール× 1

スピーカーラックシステム（B-07）の設置

スピーカーラックシステム（本機）、プラズマテレビ などの設置は次の手順で行ってください。

DVD レコーダー、ビデオデッキ、AV アンプ、CATV セットトップボックスなどの並べ方

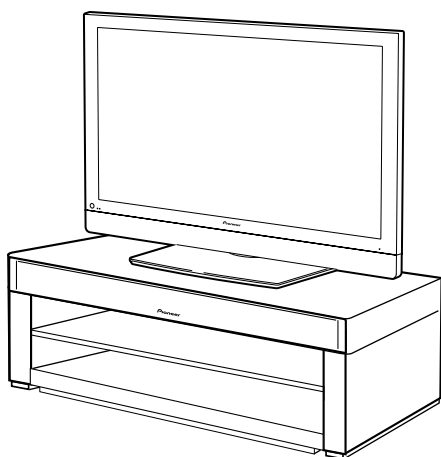
DVD レコーダー、ビデオデッキ、AV アンプ、CATV セットトップボックスなどの配置は下図を参考にしてください。（機器の配置は左右逆でもかまいません）

ご注意

- 各機器は左右の放熱孔をふさぐことのないように設置してください。またAVアンプなど発熱量の多い機器の上部は 50 mm 以上開けて設置してください。
- ビデオデッキによっては、ラックの上段に入れるとビデオ再生時にプラズマテレビの画面にノイズが入る場合があります。その場合は、ビデオデッキを下段に入れてください。

各機器の接続方法については、それぞれの取扱説明書と設置説明書を参照してください。

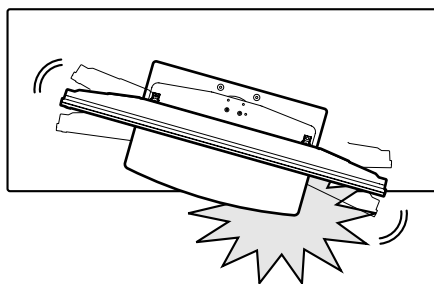
1 DVD レコーダー、ビデオデッキなどの機器をラックに入れる

上記の「DVD レコーダー、ビデオデッキ、AV アンプ、CATV セットトップボックスなどの並べ方」を参照してください。

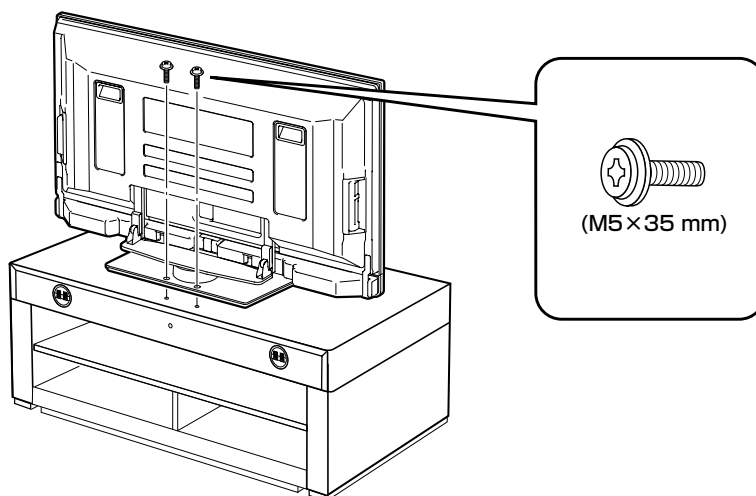
2 プラズマテレビをラックに載せる

天板の中央部にプラズマテレビを載せます。
その際、プラズマテレビの台座が天板からはみ出さないように載せてください。

ご注意

- プラズマテレビは重いので、設置するときは必ず2人以上で行ってください。
- 台座が天板からはみ出していると、製品が落ちたり倒れたりして、破損やけがの原因となります。

- 台座がラックからはみ出すと、破損や転倒など思わぬ事故の原因となります。
- 回転させる時は、周囲の壁や物に注意してゆっくり動かしてください。

⚠ はみ出すと危険です。

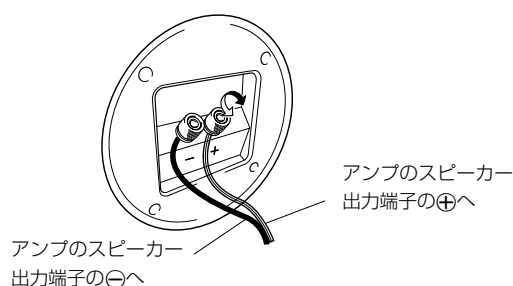
転倒防止

弊社製プラズマテレビをテーブルトップスタンド（PDK-TS25、PDK-TS23）を使って設置する場合は、付属のネジを使って図のように固定してください。

アンプ内蔵サブウーファーやAVアンプと接続する場合

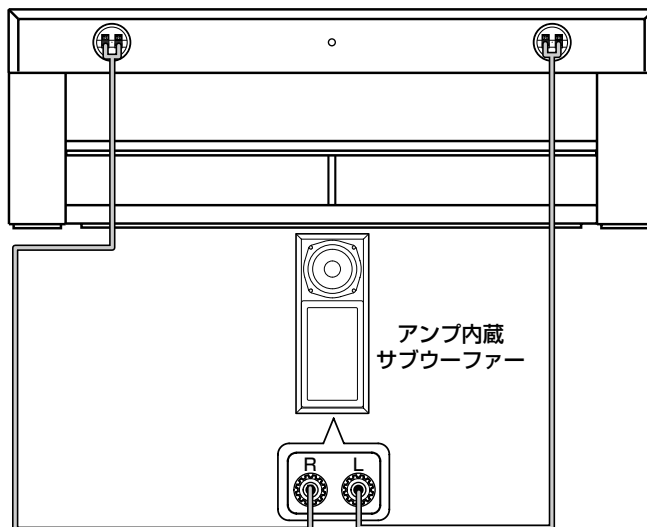
1 接続するアンプの電源をオフにします。

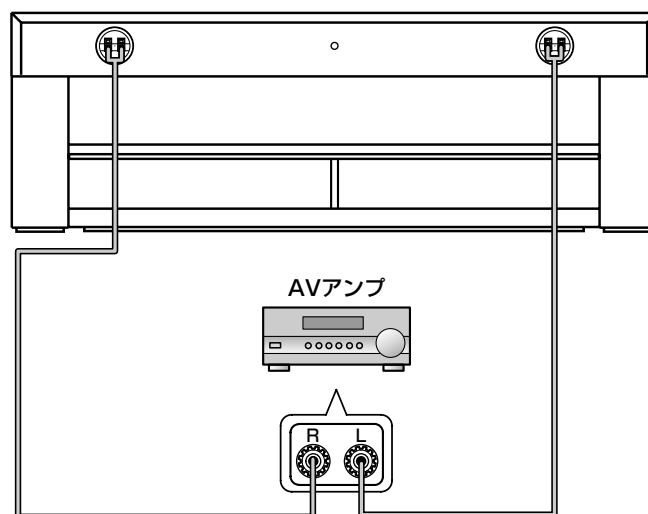
2 本機後面の入力端子とアンプのスピーカー出力端子をスピーカーコードで接続します。

⊕端子はアンプの⊕端子に、⊖端子はアンプの⊖端子にそれぞれつなぎます。

① 被覆をはがして先端をまとめる。

② ネジを緩め、コードを穴に差し込んでからネジを締める。

- 端子に接続したあと、コードを軽く引いて、コードの先端が端子へ確実に接続されていることを確認してください。接続が不完全だと音がとぎれたり、雑音の出る原因となります。
- コードの芯線がはみ出して芯線どうしが触れたりすると、ステレオアンプに過大な負荷が加わって動作が停止したり、故障することがあります。
- アンプと接続したとき、スピーカーシステム(左右どちらか)の極性(⊕、⊖)を間違って接続すると、正常なステレオ効果を得ることができません。
- 本機をAVアンプと接続して、フロントスピーカーとして接続する時は、アンプのスピーカー設定を「スモール」に設定してください。

アンプ内蔵サブウーファーと接続する場合

オプションの「HTP-07」と接続する場合は、「HTP-07」に付属しているスピーカーコードを使用してください。
接続については、「HTP-07」の取扱説明書を参照してください。

AVアンプと接続する場合

プラズマテレビと接続する場合

プラズマテレビに付属しているスピーカーに代えて、本機内蔵のスピーカーを使用することができます。

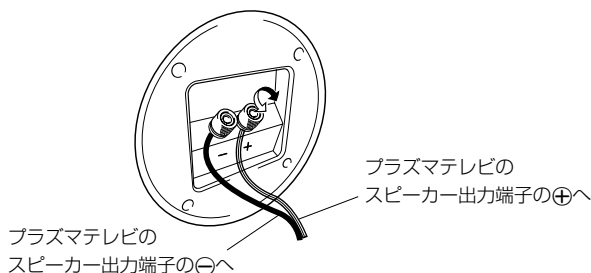
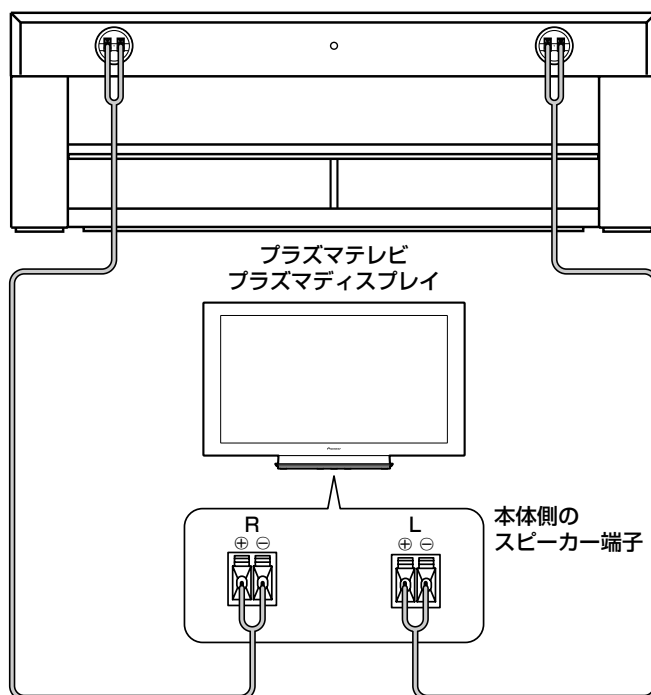
1 **接続するプラズマテレビの主電源をオフにします。**

2 **プラズマテレビ本体側とテレビのスピーカーをつないでいるスピーカーコードを外します。**

3 **本機後面の入力端子とプラズマテレビ本体側のスピーカー端子を付属のスピーカーコードで接続します。**

⊕端子はプラズマテレビの⊕端子に、⊖端子はプラズマテレビの⊖端子にそれぞれつなぎます。

① 被覆をはがして先端をまとめる。

② ネジを緩め、コードを穴に差し込んでからネジを締める。

プラズマテレビと接続する場合

- 端子に接続したあと、コードを軽く引いて、コードの先端が端子へ確実に接続されていることを確認してください。
  接続が不完全だと音がとぎれたり、雑音の出る原因となります。
- コードの芯線がはみ出して、芯線どうしが触れたりするとプラズマテレビに過大な負荷が加わって動作が停止したり、故障することがあります。
- プラズマテレビと接続したとき、スピーカーシステム(左右どちらか)の極性(⊕、⊖)を間違って接続すると、正常なステレオ効果を得ることができません。
- プラズマディスプレイ（PDP-5000EX）と接続する場合は、本機後面の入力端子とプラズマディスプレイのスピーカー端子を付属のスピーカーコードで接続してください。
- プラズマテレビやプラズマディスプレイ（PDP-5000EX）と接続する場合は、プラズマディスプレイのサラウンド設定を「TruBass」に設定してください。無理のない豊かな低音を楽しむことができます。設定方法は、プラズマディスプレイの取扱説明書を参照してください。

プラズマテレビの付属スピーカーと、本機のスピーカーを両方ともつないで使用しないでください。
プラズマテレビの故障の原因となります。

グリルネットの着脱のしかた

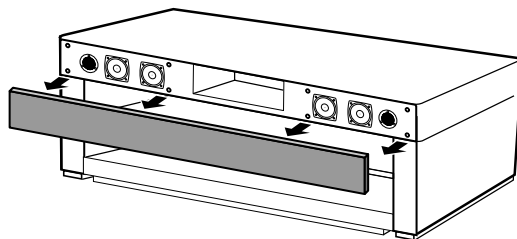
前面のグリルネットを取り外すことができます。グリルネットを着脱するときは、以下のように行ってください。

1 グリルネットの片方の端を手前に軽く引っ張り、グリルネットの片方を外します。

2 もう一方の端を手前に軽く引っぱり、グリルネットの両端を外します。

3 グリルネットの中央付近を両手で持って、手前に引っ張り、グリルネット全体を外します。

4 取り付けるときは、グリルネットの四隅にある突起部を本体の穴部に合わせて、押し込みます。

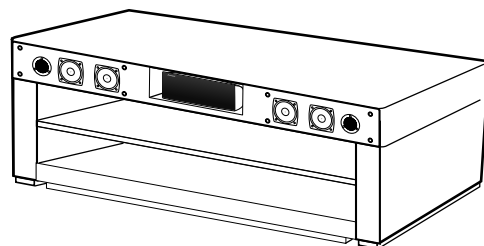
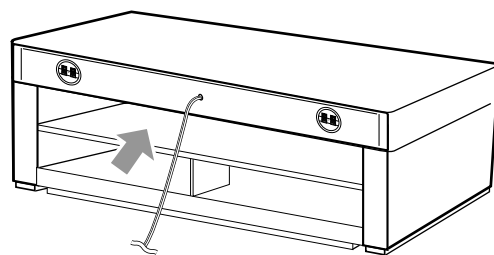
5 中央付近にある突起部あたりを押し込んではめます。

センタースピーカーを使用する場合

センタースピーカーをラックの中に入れて使用することができます。
なお、センタースピーカー収納部の寸法は、幅340 mm × 高さ104 mm × 奥行111.5 mmです。

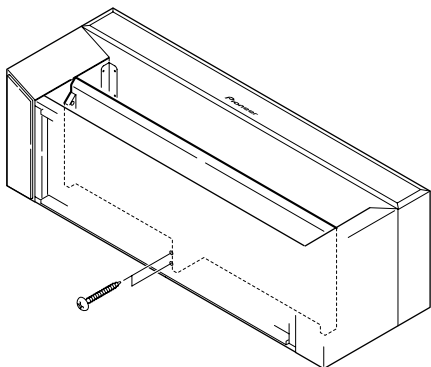
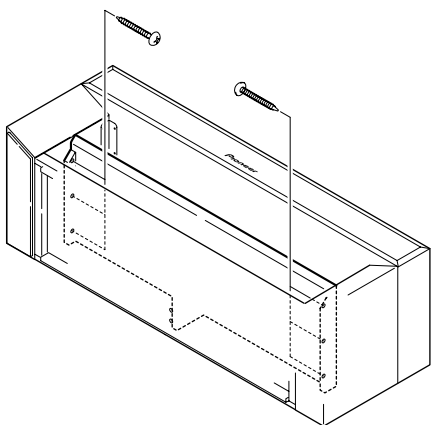
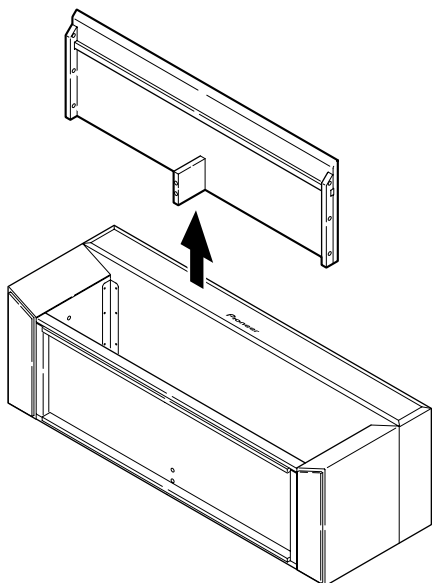
1 グリルネットを取り外します。（上記）

2 後面中央の穴からスピーカーコードを30 cm程度差し込みます。

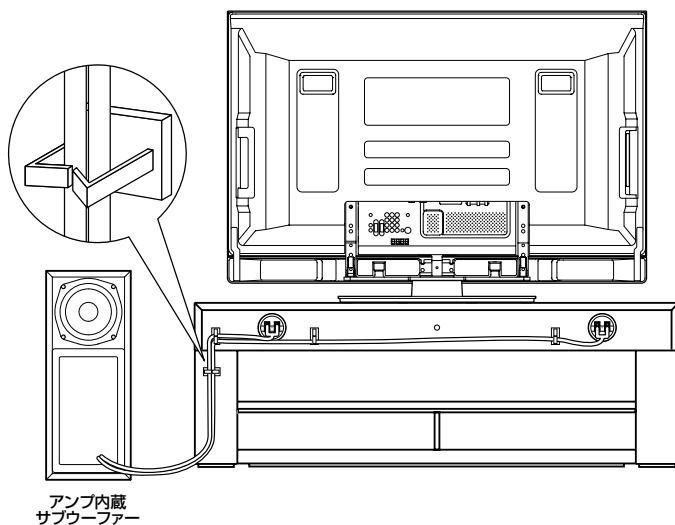
3 スピーカーコードを前面から引き出して、センタースピーカーに接続します。

4 センタースピーカーをセンタースピーカー収納部に置き、グリルネットを取り付けます。

棚板の取り外し方

中央の棚板を取り外すことができます。
大型の機器を収納する際は、棚板を取り外して使用してください。

1 本機を図のように寝かせ、底面中央のネジを外します。（2カ所）

2 支え板のネジを外します。（左右各3カ所）

3 中央の棚板を外します。

- それぞれのネジを外した穴に、付属の穴ふさぎシールを貼ってください。

ケーブルバインダーの使い方

付属のケーブルバインダーを使用して、ケーブル類をまとめてください。ケーブルバインダーには両面テープがついています。本機後面の適当な位置に貼り付けて使用してください。

キャビネットのお手入れ

本機は表面保護のためのピアノ用クリーナーを塗布しています。開封時に表面がくすんだりムラになって見える場合があります。その際は柔らかい布をよく絞って一度全体を水拭きし、その後、乾いた布で拭いてください。
お手入れの際は市販されているピアノ用クリーナー（鏡面ツヤ出し用）をご使用ください。
アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると塗装が変色することがありますのでご注意ください。また、化学ぞうきんなどをお使いの場合は化学ぞうきんなどに付属の注意事項をよくお読みください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への思いやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量は貴方の心がけ次第で大きくも小さくもなります。
とくに静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞などには特に気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉め、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

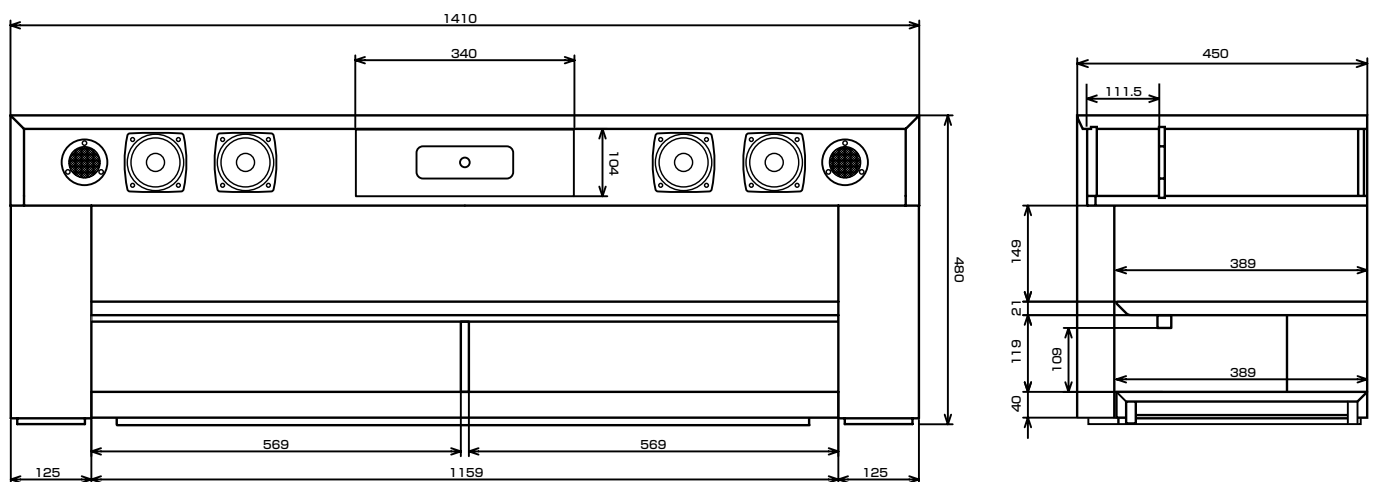
積載制限

- ・積載総質量　100 kg 以下
- ・天板の上　60 kg 以下
- ・地板の上　20 kg 以下
- ・棚板の上　20 kg 以下
- ・積上げ高さ（天板の上から）　90 cm 以下

ご注意

- 左記制限を超えて積載しますと、破損や転倒などの危険があります。必ず制限内で使用してください。

寸法図

単位[mm]

仕様

・材質および仕上げ
天板、脚部 .... 繊維板：ポリエステル樹脂塗装（7回塗り）
棚板 .... 繊維板：黒合成樹脂シート貼り
地板 .... パーチクルボード：黒合成樹脂シート貼り
・上下2段収納棚
・寸法：1 410 mm（幅）× 480 mm（高さ）× 450 mm（奥行）
・質量：49 kg

ご注意

防磁設計(JEITA)ですのでブラウン管使用のテレビやモニターと組み合わせても色ムラが起こりにくくなっています。まれに設置のしかたによっては色ムラを生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15〜30分後再びスイッチを入れてください。その後も色ムラが残るようでしたら、テレビの位置を変えてみてください。

スピーカー部

形式 .... 密閉型防磁設計(JEITA)
スピーカー構成 .... 2 ウェイ方式
　ウーファー .... 8.7 cm コーン型×2
　トゥイーター .... 2.6 cm セミドーム型
　公称インピーダンス .... 8 Ω
再生周波数帯域 .... 50 Hz〜20 000 Hz
出力音圧レベル .... 86 dB
許容入力
　最大入力(JEITA) .... 50 W

- 上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

保証期間中（一年間）、および保証期間経過後の修理についてはお買い上げの販売店、または最寄りの当社サービスステーションにご相談ください。所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。なお、本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後8年間です。補修用性能部品とは本機の性能を維持するために必要な部品です。

<各窓口へのお問い合わせの時のご注意>
市外局番「0070」で始まるフリーフォン及び「0120」で始まるフリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

●家庭用オーディオ/ビジュアル商品　■0070－800－8181－22　■一般電話　03－5496－2986

■ファックス　03－3490－5718

■インターネットホームページ　http://www.pioneer.co.jp/support/index.html
※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理についてのご相談窓口

● お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

修理受付センター

受付時間　月曜～金曜9:30～19:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

■電話　0120－5－81028（ゴーハイオニア）　■一般電話　03－5496－2023

■ファックス　0120－5－81029

■インターネットホームページ　http://www.pioneer.co.jp/support/repair.html
※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ/ビジュアル商品に限ります

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■一般電話　098－879－1910

■ファックス　098－879－1352

部品のご購入についてのご相談窓口

● 部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

■電話　0120－5－81095　■一般電話　0538－43－1161

■ファックス　0120－5－81096

平成18年1月現在　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.016

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<SRA1443-A>